

教材・教具名	コミュニケーション・ボード
対象児童生徒	個人
制作のねらい	簡単な意思表示はできるが発語がなく、手指の不自由な生徒の、コミュニケーション手段の一助になればとの願いを込めて制作した。卒業後も追加や改定を繰り返しながら、長く使えるように工夫した。
使用法 及び 効 果	生徒と複雑なコミュニケーションをとりたいとき、込み入ったことを説明したい時など、具体的なカードを提示することで、意思を伝えたり、相手を理解したりすることができる。
作り方	50音表や写真、動作を表したカードなどをラミネートして耐久性を持たせ、ファイルの中にマジックテープで保管できるようにした。
使用に際して の留意点・ その他	・ 本人は、表情である程度の意思表示ができるので、このボードに頼りすぎないように気をつける。 ・ カード作成にあたっては、プライバシーに配慮する。
教材・教具写真	